

動物・植物写真と日本近代絵画

中川馨 著

2011年1月刊行予定

A5判・256頁／定価5,250円(税込) ISBN978-4-7842-1598-0

今日の情報伝達には欠かせない映像メディア。しかし欧米諸国と比較して、わが国におけるその歴史的考察はいまだ不十分である。本書では、「明治後期から太平洋戦争以前の日本における動物・植物写真」を考察範囲とし、先行研究の少ないそれらの写真集の歴史にもスポットをあてて概説する。またその「動物・植物写真集」が、美術資料として担った役割を解き明かすことにより、近代日本の「写真」と「絵画」との関連性を論究する。とくに、本書で詳しく取り上げる京都出身の動物・植物写真家、岡本東洋（1891-1969）撮影の写真・写真集群や資料から、多彩な近代美術家たちと写真家との交流を浮き彫りにし、その関連性を鮮やかに導き出す。関連図版94点を掲載。

内容目次

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 第一章 日本の動物・植物写真集についての今日的な理解 | 第五章 岡本東洋の動物・植物写真集の考察 |
| 第二章 初期の動物・植物写真集 | 一 代表的な三種の写真集 |
| 一 西洋の動物・植物写真 | 二 『花鳥写真図鑑』 |
| 二 明治期の日本の写真事情 | 三 『東洋花鳥写真集』 |
| 三 日本最初の川井写真館による動物・植物写真集 | 四 『美術写真大成』 |
| 四 学術資料への動物・植物写真の利用 | 五 当時の岡本東洋の作品に対する評価 |
| 五 初期の生態写真集 | 第六章 岡本東洋の写真と美術家の作品との関連性 |
| 第三章 写真家岡本東洋 | 一 美術家の写真利用法 |
| 一 写真家になるまでの経緯 | 二 岡本東洋の写真と画家の代表作との構図の類似性 |
| 二 太平洋戦争以前の仕事 | |
| 三 太平洋戦争以後の仕事 | |
| 第四章 岡本東洋の動物・植物写真撮影 | |
| 一 撮影の動機 | |
| 二 対象としての動物・植物 | |
| 三 撮影方法 | |



なかがわ・かおる...1974年京都市生まれ。同志社大学文学部文化学科美学及芸術学専攻卒業。日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程映像芸術専攻修了、同大学院芸術学研究科博士後期課程芸術専攻修了、博士(芸術学)。現在、池坊短期大学・福井工業大学で非常勤講師を務める。主な著書に共著『古写真で語る京都—映像資料の可能性—』(2004年、淡交社)。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	動物・植物写真と近代日本絵画		本体5,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1598-0
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				書店番線印

海を渡り世紀を超えた 竹内栖鳳とその弟子たち

田中日佐夫・田中修二共著
栖鳳の滞欧期の“西歐文化体験”を扱い、その後の作品との関連にもふれ、第2章では“栖鳳山脈”の作家たちの画業をとりあげる。第5回国内勲業博覧会(1903年)出品作品で100年ぶりに発見された屏風「羅馬之図」をカラーで誌上初公開。
▶A5判・220頁/定価3,200円

ISBN4-7842-1106-3

山口県の実術

河野良輔監修/榎本徹編
山口県ゆかりの44作家109点の作品をオールカラーで紹介。【作家】雪舟等楊/雲谷等顔/雲谷等益/朝倉南陵/小田海徳/森寛斎/大庭学僊/狩野芳崖/高島北海/田中柏陰/松林桂月/河上左京/長谷川三郎/香月泰男/河内山賢祐/中野四郎/植木茂/田中米吉/大和松緑/坂倉新兵衛/三輪休和/三輪休雪/有馬光城/福田勝治/林忠彦他
▶B4判変・290頁/定価20,388円

ISBN4-7842-0886-0

画集 下村為山

鴻池楽斎編
松山に生れ、洋画から出発し、正岡子規の俳趣味に洗練され、自得発明した俳画で名を成した下村為山。本書は洋画・俳画(スケッチ・軸・画帖)・書の名品の数々を大型図版で紹介し、総説・解説、落款、印譜・年譜を付す。
▶B4判変・102頁/定価18,900円

ISBN4-7842-0837-2

応用美術思想導入の歴史

天貝義教著 ウィーン博参同より意匠条例制定まで
「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」とされた応用美術。「博覧」「伝習」「勲業」を目的としたウィーン万国博覧会への日本初参加から二度の内国勲業博覧会を経て、「デザイン」の法である意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしたかを解明。
▶A5判・410頁/定価7,875円

ISBN978-4-7842-1505-8

*視覚芸術の比較文化

武田恒夫・辻成史・松村昌家編 大手前大学比較文化研究叢書②
源氏物語からラファエル前派まで、日欧の古代から現代までの文学テキストと絵画・工芸などとの関わりを、まるで謎解きのように解いていく。ジョージ・S・レイヤード『デニソンとラファエル前派の画家たち』の翻訳を収録。【執筆者】武田恒夫/切畑健/辻成史/柏木隆雄/六人部昭典/小林宜之/松村昌家/森道子訳
▶A5判・256頁/定価2,940円

ISBN4-7842-1187-X

文人世界の光芒と古都奈良

久留島浩・高木博志・高橋一樹編 大和の生き字引・水木要太郎
近代奈良において水木要太郎(1865-1938)により形成された水木コレクションを主な分析素材とし、日本史・考古学・建築史・国文・美術史・地理学等にわたる学際的な一書。多岐にわたるコレクションの形成過程や収集意図のつ歴史的意義を解明。国立歴史民俗博物館での共同研究の成果。
▶A5判・508頁/定価8,190円

ISBN978-4-7842-1481-5

みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編
平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わったまちであった——「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じ、さまざまな分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。『京都新聞』に連載されたものを再構成。
▶A5判・268頁/定価2,730円

ISBN978-4-7842-1378-8

田能村竹田基本画譜 [図版篇・解説篇]

宗像健一編著
田能村竹田(安永6年~天保6年)は資性文雅を好み多才多能、詩歌・書画・茶などに通暁。池大雅、与謝蕪村のあと、青木木米・頼山陽・らとわが国南画の隆盛期を築いた。図版篇には140点(カラー95点・モノクロ45点)の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。
▶B4判・398頁/定価29,400円

ISBN978-4-7842-1566-9

大分県の実術

広田肇一編
近世・近代2世紀にわたる美術品(南画・日本画・洋画・彫刻・工芸)33作家103点をオールカラーで紹介。【作家】田能村竹田/高橋草坪/後藤碩田/平野五岳/帆足杏雨/福田平八郎/幸松春浦/正井和行/高山辰雄/諫山麗吉/藤雅三/吉田嘉三郎/片多徳郎/権藤種男/菅一郎/渡辺長男/朝倉文夫/日名子実三/山本常一/山永光甫他
▶B4判変・240頁/定価20,388円

ISBN4-7842-0815-1

熊本県の実術

熊本県立美術館編
熊本県ゆかりの40作家99点の作品をオールカラーで紹介。【作家】佐々布篁石/杉谷雪樵/竹富清嘯/雲林院蘇山/梶山九江/近藤樵仙/高橋廣湖/福島峯雲/野田鋤雲/甲斐青萍/山中神風/青木彝蔵/間部時雄/大津逸次/大森商二/伊藤直臣/石井了介/浜田知明/松原象雲/田島亀彦/松本喜三郎/米光太平/高野松山/増村益城他
▶B4判変・240頁/定価20,388円

ISBN4-7842-0872-0

*中国文人画家の近代

西横偉著 豊子愷の西洋美術受容と日本
中国近代を代表する文人・芸術家、豊子愷(Feng Zi-kai, 1898-1975)は、民国期から人民共和国期まで世相人情を反映する抒情漫画や隨筆、散文を遺した。本書では、豊子愷が日本を通して西洋美術を受容したことの意味を問うと同時に、「文化の越境者」豊子愷の本質に迫り、20世紀日中知的交流の軌跡を検証する。
▶A5判・384頁/定価5,775円

ISBN4-7842-1230-2

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編
ジャポニスムの全体像に迫ろうとした一書。ジャポニスム学会20周年記念出版。これまであまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開をやさしく読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れる。
編集委員：馬淵明子・三浦篤・岡部昌幸
▶A5判・292頁/定価2,940円

ISBN4-7842-1053-9

視覚の一九世紀 人間・技術・文明

横山俊夫編
【内容】“文明人”の視覚/平地劇から舞台劇へ/蔵書家の視界/ナポレオンのコルベール/明治写真考/オーストラリアの博覧会におけるジャポニスム/巨船グレート・イースタンの視像/真山青果の歴史観を求めて/チョンキナ/富士の近代/1906年ロンドン苦汗産業博覧会/病いの世紀
▶A5判・464頁/定価6,090円

ISBN4-7842-0700-7

近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編
歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった——。京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れるながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果である。
▶A5判・628頁/定価9,450円

ISBN978-4-7842-1413-6

没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編
南画・俳諧、さらに俳画の大成者として輝かしい足跡を残した与謝蕪村(1716-83)の没後220年を記念し、逸翁美術館と柿衛文庫が共同で編集。南画・俳画・嫁入手・扇面・草稿・短冊・俳書・書簡など、新旧作品もふくめ全176点を解説を付けてカラーで収録。書簡については巻末に翻刻・解説を併載。
▶A4判・210頁/定価2,310円

ISBN4-7842-1162-4

黄金のとき 桃山絵画

京都国立博物館編
信長・秀吉と狩野永徳に象徴される桃山時代の絵画を狩野派とそれをめぐる作家たちの作品を中心に構成。大画面一巻・屏風・大絵馬・杉戸絵一巻を主として基本作品全100点を全8章に分けてオールカラーで収録。各章ごとにテーマ解説を掲げ、適宜部分拡大図を収めた。巻頭概説のほか巻末に作品解説を収録。
▶B4判・400頁/定価42,000円

ISBN4-7842-1044-X

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。